

五十子陣跡(本庄市)

築城年代:1457年頃、築城者:上杉房顕

いかっこじんあと

五十子陣は、関東地方における戦国時代の幕開けとなった関東管領上杉氏と古河公方が戦った享徳の乱(1455年～1483年)の際に、上杉方が築いた陣地で、小山川と女堀川(上の細い川)とに囲まれた水質管理センター周辺のエリアが五十子陣跡/五十子城とも呼ばれる/五十子の戦いは、その享徳の乱における激戦の一つで、1459年～1477年にかけて断続的に続けられた合戦を指す(合戦が大規模だった1477年の長尾景春の乱のみを指す場合もあるらしい/これによって五十子陣は解体する)



中山道(国道17号線)/橋を渡ると群馬県に入る/北西方向を見たところ



これが小山川で、この先が五十子陣跡のエリア/右手の橋が中山道(国道17号線)



そこから左手を見たところ/前方もそのエリア



これは右手を見たところで、前方が主郭のエリアと云う



「一の橋」と記されている



橋を渡って、北西方向を見たところ/この辺りが主郭のエリアと云う



道路標識には「湯かっこ」という名称があり、五十子陣跡との関連を思わせる



これは右手にある食事どころ/この辺りが主郭と云う/ここの地番は東五十子字城山といい、その名残である



屋根の形はこんな塩梅



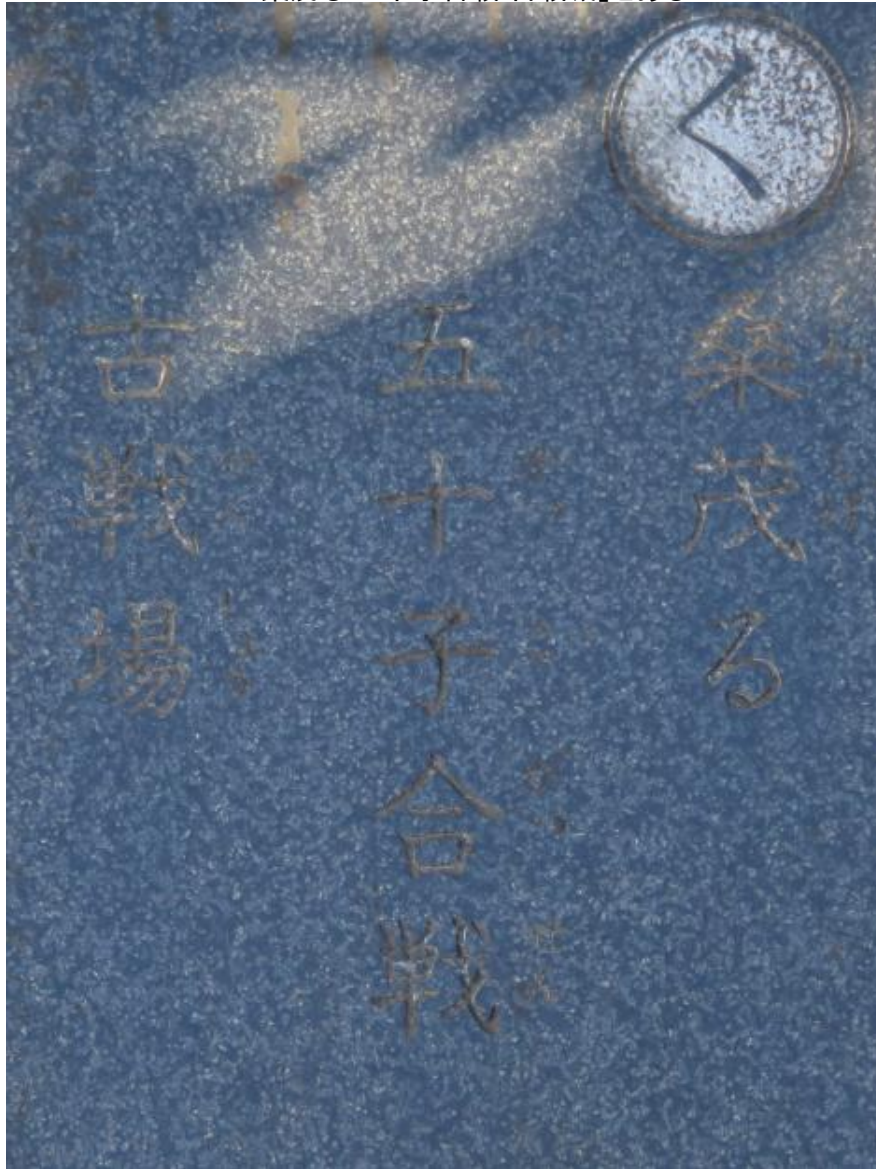
その手前にあるビジネス旅館城山館/右手前に石碑が立っている



「ほんじょうかるた」と記されている



「桑茂る 五十子合戦 古戦城」とある



左手の城山館脇を歩いて行く



すると左手に公園のような所が見える



これが城山館の裏手にある公園/奥に小祠が祀られている



これが小祠



右手の北東方向は一段下がっており、当時の堀跡のようだ



ここから下りてみよう



階段を下りて振り返って見たところ/これだけの高低差がある



そこで右手を見たところ/堀跡の名残なのか



振り返って見たところ



これは北東方向の女堀川の土手を見たところ



その女堀川の土手まで来て、北方向を見たところ/浅間山や榛名山が見える



反対に南東方向を見たところ



城山館の東側には、用水路が流れ、低地(湿地)が広がっていて、当時の堀跡のようだが



そこから「一の橋」方向を見たところ/このエリアが主郭と云うことか



さて、中山道(国道17号線)を更に北西方向に進もう



ここで女堀川を渡る



「二の橋」と記されている



左手に女堀川を見たところ



振り返って反対方向を見たところ/川の右手が城域



「二の橋」を渡って振り返って見たところ/五十子陣は、関東管領陣営と古河公方陣営とが、対立する最前線地である利根川中流域の制圧を巡って争った激戦地であった/五十子の戦いの前後には、利根川流域において忍城・深谷城・関宿城などが次々と築かれるようになった/戦いの結果として山内上杉顕定が敗退し、五十子陣は解体したが、以後、戦局は山内・扇谷両上杉家に対立、新たな長享年中の大乱(1487年～1489年)へと繋がっていく



さて、前方は城域の近くにある浅間神社/鳥居が見える









古墳と思われるマウントの上に社殿が鎮座する/説明板が立っている



浅間神社 御由緒

□ 縁起

本庄市鶉森二四、

鶉森は、本庄台地の末端部から利根川右岸の低地にかけて位置する農業地域で、その北端は元小山川、南端は女堀川で区切られる。当社は、集落から離れて田畑の広がる中に鎮座しており、高さ一〇メートルほどの土盛りの上に本殿があるため、遠望すると、あたかも神が一带を見守っているかのような印象を受ける。なお、鶉森という地名は、かつては当社の杜は今よりもずっと大きく、そこには鶉が生息していたことにちなむものであるといわれている。

当社の創建の年代は不明であるが、口碑に「名主の早野半兵衛が当社と利益寺とを建立した」と伝え、利益寺でも早野半兵衛が天正年間（一五七三―九二）に草創した旨を伝えていることから、口碑に従うならば、当社もそのころ勧請されたものと考えられる。一方『児玉郡誌』は、この地が五十子城砦の要害の地であることから、寛正年間（一四六〇―六六）に上杉管領房頭の奥方の梅沢御前がその守護神として勧請し、社殿を建立した旨を載せており、これに従えば、当社の勧請は口碑に伝えるものよりも一〇〇年以上前のことになる。

また、『風土記稿』に「浅間社 村の鎮守なり、大蔵院持」とあるように、江戸時代には、真言宗系修験の大蔵院が別当であった。神仏分離の後、当社は明治四年に村社になり、同三十九年に字台の下浅間神社と伊勢神社を合祀したが、大蔵院は明治初年に廃寺になった。

□ 御祭神と御神徳

・木花咲耶姫命・・・安産、子育て

□ 御祭日

- ・天手長祭（三月十九日）
- ・祈年祭（四月三日）
- ・八坂祭（七月二十五日）
- ・例祭（十月十七日）
- ・新嘗祭（十二月十日）

この地が五十子城砦の要害の地であったことが記されている

右手から見たところ



小御岳三社大神



天照皇大神宮



天神





拝殿



深夜真夜中の心霊スポット肝だめし御法度

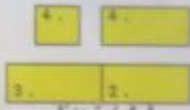


6. 浅間大神
せんげんおおかみさま

5. 水神
みづいんさま



うのもりせんげんしんじゅ
鶴森浅間神社



- 4. 大黒天
だいこくさま
- 3. 天手長男社
あまのてながおしさま
- 2. 八坂神社
やつかみかみさま

8. 天神
てんじんさま

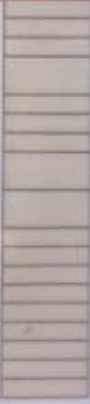


7. 天照皇大神宮
あまてらすこうたいじんぐうさま

9. 小御岳三社大神
こみけさんじゅおおかみさま



12. 旗竿殿
はたごおでん



10. 子宝授かり神石
こたからさずかりかみさま

11. 手水舎
てみづしゅ

旧お札預り所
きゅうお札あずかりしよ



変わった形の墓股



振り返って見たところ



社殿の左側を見たところ



そこで右手を見たところ



左手は天手長男社/右手は八坂神社



大黒天



本殿の背後を見たところ



階段がある





階段を下りて進む



水神精靈御池



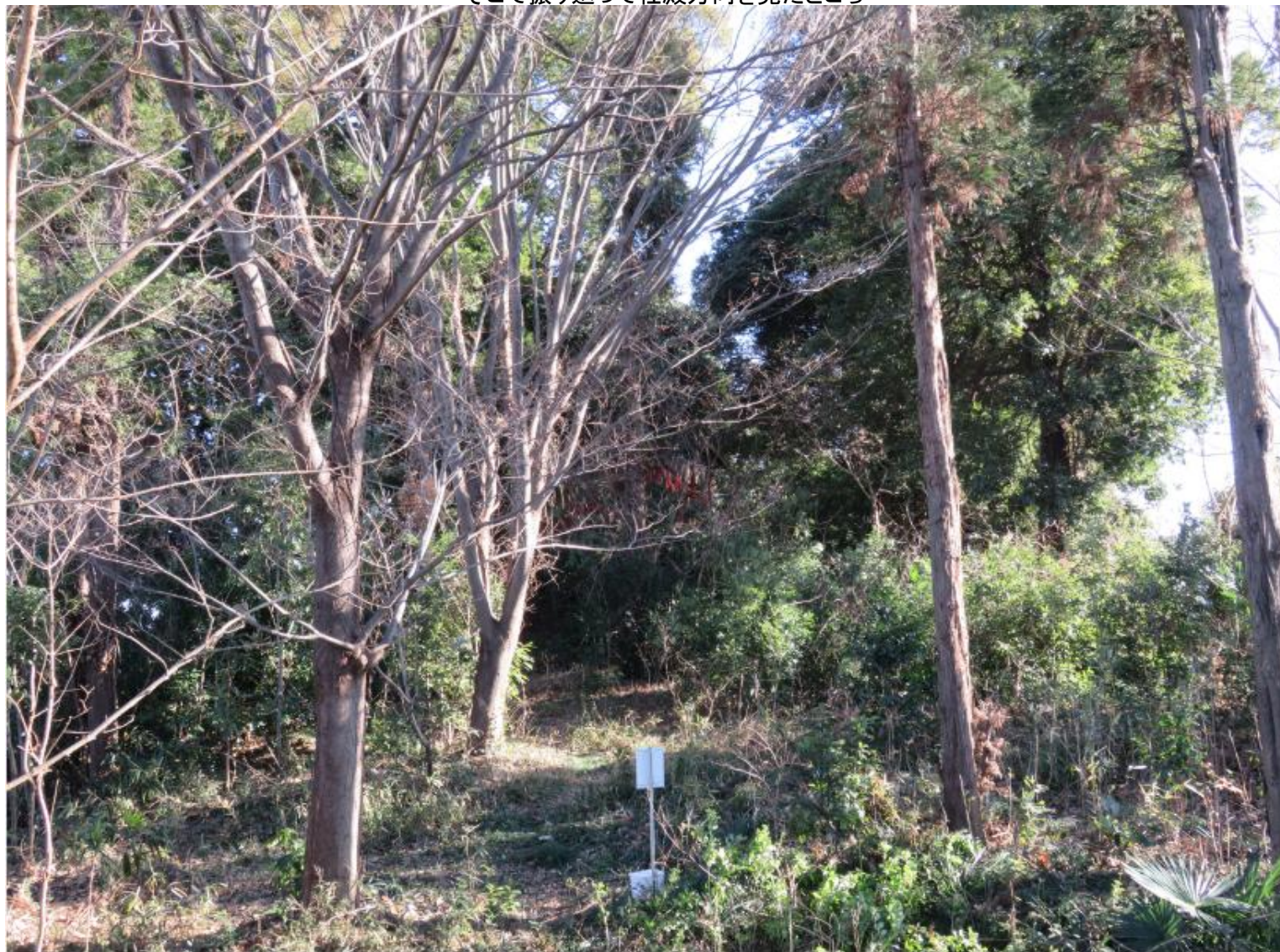
こんな塩梅に凹んでいる



浅间大神



そこで振り返って社殿方向を見たところ



アップで見たところ



これは北西側から浅間神社のある木々のエリアを見たところ/その左前方方向が五十子陣跡



参考ホームページ

<https://ameblo.jp/napo-iou/entry-11628806747.html>

http://hanatanbou2.web.fc2.com/honzyo_ikakko_zin.htm

<http://rover.seesaa.net/article/428314713.html>

https://blogs.yahoo.co.jp/nmb48lovejm/69798885.html?_vsp=5LqU5Y2B5a2Q6Zmj6Leh77yI5pys5bqE5biC77yJ

https://53922401.at.webry.info/201405/article_27.html

<http://www.kit.hi-ho.ne.jp/nagae/ikakko.html>

<http://minowa1059.wiki.fc2.com/wiki/%E4%BA%94%E5%8D%81%E5%AD%90%E3%81%AE%E9%99%A3>